

## 地域・老人看護学

教授 (地域看護学)	村山正子
教授 (地域看護学)	成瀬優知
助教授 (地域看護学)	梶田悦子
助教授 (老人看護学)	泉野 潔
講師 (老人看護学)	服部 ユカリ
助手 (地域看護学)	田村 須賀子

### ◆ 著 書

- 1) 千葉典子、服部ユカリ、他：「介護福祉の基礎知識（上巻）」中島紀恵子他編、22-27、33-37、48-112、144-157、165-178、中央法規出版、東京、1996。

### ◆ 原 著

- 1) 村山正子：暮らしの中の人間—地域看護学の視点と強調点—。Quality Nursing 2:39-45,1996。
- 2) 村山正子：これからの保健婦教育への抱負—看護大学の立場から—。保健婦雑誌 52:549-553, 1996。
- 3) 村山正子、大野絢子、斉藤泰子、妹尾孝子、高崎絹子、福本恵、丸山美知子、宮地文子、山崎京子：新たな地域保健に対応した保健婦の基礎教育のあり方に関する研究。保健婦雑誌 52:725-734,1996。
- 4) 村山正子、大野絢子、斉藤泰子、妹尾孝子、高崎絹子、福本恵、丸山美知子、宮地文子、山崎京子：新たな地域保健に対応した現任教育のあり方に関する研究。保健婦雑誌 52:810-824,1996。
- 5) 成瀬優知、梶田悦子、福田孜、市来愛子、鏡森定信：訪問看護対象者の保健・福祉ニーズ把握における医師と看護婦の差異に関する研究。日本の地域福祉 9:38-48,1995。
- 6) 新村哲夫、中崎美峰子、中川秀昭、成瀬優知、鏡森定信：健康成人における血清セレン濃度および尿中排泄量と喫煙・飲酒習慣。BIOMEDICAL RESEARCH ON TRACE ELEMENTS 6: 91-99, 1996。
- 7) 山崎紀美、北川定謙、成瀬優知、鏡森定信：プレホスピタル・ケアシステムの評価指標に関する研究。日本公衆衛生雑誌 43: 299-307, 1996。
- 8) 梶田悦子、服部ユカリ、村山正子、田村須賀子、成瀬優知、泉野潔：在宅介護支援センターにおける看護職の活動に関する研究（第2報）看護職種別にみた看護活動の現状と課題。富山医科薬科大学看護学科紀要 3:49-58,1996。
- 9) 伊木雅之、梶田悦子、斉藤幸江：骨粗鬆症の予防に最も効果的な運動処方決定に関する研究。体力研究 91:58-66,1996。

10) Masayuki Iki, Youko Dohi, Harumi Nishino, Etsuko Kajita, Yukinori Kusaka, Chika Tsuchida, Kazutaka Yamamoto and Yasushi Ishii: Relative contributions of age and menopause to the vertebral bone density of healthy Japanese women. BONE,18:617-620,1996.

11) Masayuki Iki, Etsuko Kajita, Youko Dohi, Harumi Nishino, Yukinori Kusaka, Chika Tsuchida, Kazutaka Yamamoto and Yasushi Ishii: Age, menopause, bone turnover markers and lumbar bone loss in healthy Japanese women. MATURITAS,25:59-67,1996.

12) 服部ユカリ、梶田悦子、村山正子、田村須賀子、成瀬優知、泉野潔：在宅介護支援センターにおける看護職の活動に関する研究（第1報）運営主体別にみた施設の概況と職員体制の比較。富山医科薬科大学看護学科紀要 3:37-48,1996。

13) 田村須賀子、明官教子、村山正子：「中学生の赤ちゃんとのふれあい体験学習事業」を組み入れた母子保健活動。富山医科薬科大学看護学科紀要 3:59-67,1996。

14) 田村須賀子：母子保健推進員と共に展開する「保健婦の地区活動」について。保健婦雑誌 52:559-565, 1996。

### ◆ 学会報告

1) 錦織正子、大野絢子、宮地文子、丸山美和子、佐々木美佐子、長浦美晴、村山正子：母子保健指導（保健婦基礎教育）における体験学習と効果的に実施するための条件分析。第55回日本公衆衛生学会総会,1996,10,大阪。

2) 大野絢子、錦織正子、宮地文子、丸山美和子、佐々木美佐子、長浦美晴、村山正子：「保健婦基礎教育における母子保健教育内容モデル案」の提示。第55回日本公衆衛生学会総会,1996,10,大阪。

3) 横川博、成瀬優知、鏡森定信：血清チオシアネートと死亡—Nested Case-Control Studyを用いて—。第6回日本疫学会学術総会, 1996, 1, 名古屋。

4) 成瀬優知：登録事業に基づく富山県の脳卒中の現況。第1回富山県脳卒中研究会, 1996, 3, 富山。

5) 中川秀昭、森河裕子、岡山明、藤田委由、吉田康弘、三河一夫、坂田清美、石崎昌夫、三浦克之、田畑正司、西条旨子、成瀬優知、鏡森定信、橋本 勉、上島弘嗣、柳川洋：インターソルト研究Ⅱ（2）：血圧と食塩、K摂取量の8年間の推移。第66回日本衛生学会総会, 1996, 5, 札幌。

6) 森河裕子、中川秀昭、岡山明、藤田委由、吉田康

- 弘, 三河一夫, 坂田清美, 石崎昌夫, 三浦克之, 田畑正司, 西条旨子, 成瀬優知, 鏡森定信, 橋本 勉, 上島弘嗣, 柳川洋: インターソルト研究II (3): 地域別にみた血圧と電解質との関連. 第66回日本衛生学会総会, 1996, 5, 札幌.
- 7) 大西孝司, 林宏一, 由田克土, 三浦克之, 田畑正司, 森河裕子, 西条旨子, 石崎昌夫, 山上孝司, 成瀬優知, 鏡森定信, 中川秀昭: 健康成人における血清中アルケナル含量について. 第66回日本衛生学会総会, 1996, 5, 札幌.
- 8) 笹島茂, 孫傑, 劉仲玉, 山上孝司, 成瀬優知, 鏡森定信: 心拍変動のスペクトル解析による温熱環境が自律神経系に及ぼす影響の検討. 第66回日本衛生学会総会, 1996, 5, 札幌.
- 9) 田中朋子, 堀井裕子, 西野治身, 山上孝司, 成瀬優知, 鏡森定信: 男子高校生における血清尿酸値とスポーツテスト成績との関連. 第66回日本衛生学会総会, 1996, 5, 札幌.
- 10) 沼田直子, 山上孝司, 笹島茂, 成瀬優知, 鏡森定信: Daily Physical Activityと心血管系反応との関連について. 第66回日本衛生学会総会, 1996, 5, 札幌.
- 11) 山上孝司, 松倉知晴, 笹島茂, 成瀬優知, 鏡森定信: 児童生徒における血清尿酸値, 体格及びライフスタイルの関連. 第66回日本衛生学会総会, 1996, 5, 札幌.
- 12) Y. Naruse, T. Yamagami, S. Sokejima, S. Kagamimori, H. Nakagawa: Relationship between health indicators and survival rate. The XIV International Scientific Meeting of the International Epidemiological Association, 1996, 8, Nagoya.
- 13) K. Umezaki, T. Yamagami, S. Sokejima, Y. Naruse, S. Kagamimori: The Change of Life Style after Bereavement among Japanese Elderly. The XIV International Scientific Meeting of the International Epidemiological Association, 1996, 8, Nagoya.
- 14) S. Kagamimori, T. Yamagami, S. Sokejima, Y. Naruse, K. Handa, S. Katsuno, S. Nanri, T. Saito, K. Taira, N. Tokui, K. Yoshida, T. Yoshimura: Studies on relationship between obesity-related life styles and social factors among three years Japanese children. The XIV International Scientific Meeting of the International Epidemiological Association, 1996, 8, Nagoya.
- 15) T. Yamagami, S. Sokejima, Y. Naruse, K. Handa, S. Katsuno, S. Nanri, T. Saito, K. Taira, N. Tokui, K. Yoshida, T. Yoshimura, S. Kagamimori: Regional differences in eating habits of three year Japanese children - TOYAMA Study report -. The XIV International Scientific Meeting of the International Epidemiological Association, 1996, 8, Nagoya.
- 16) S. Sokejima, S. Kagamimori, T. Yamagami, Y. Naruse: Electric power consumption and geographic variation in leukemia. The XIV International Scientific Meeting of the International Epidemiological Association, 1996, 8, Nagoya.
- 17) H. Nakagawa, K. miura, M. Nishijo, A. Okayama, Y. Fujita, M. Ishizaki, Y. Morikawa, M. Tabata, Y. Naruse, Y. Yoshida, K. Mikawa, K. Sakata, S. Kagamimori, H. Ueshima, H. Yanagawa: Relationship between micro-albuminuria and blood pressure. The XIV International Scientific Meeting of the International Epidemiological Association, 1996, 8, Nagoya.
- 18) 松田まり子, 吉居富美子, 本田万知子, 成瀬優知, 中川秀昭, 鏡森定信: 高齢者のライフスタイルとActive Life Loss(III)-保健行動との関連-. 第55回日本公衆衛生学会総会, 1996, 10, 大阪.
- 19) 成瀬優知, 松田まり子, 吉居富美子, 本田万知子, 中川秀昭, 鏡森定信: 高齢者のライフスタイルとActive Life Loss(IV)-Social Supportとの関連-. 第55回日本公衆衛生学会総会, 1996, 10, 大阪.
- 20) 松田美千代, 中谷芳美, 成瀬優知: 退院時の歩行自立度にかかわる身体・家庭環境要因-脳卒中患者を対象として-. 第55回日本公衆衛生学会総会, 1996, 10, 大阪.
- 21) 角丸豊子, 成瀬優知, 鏡森定信: 健診受診者の生命予後-死因別検討-. 第55回日本公衆衛生学会総会, 1996, 10, 大阪.
- 22) 渡辺倫子, 大野昌美, 表とし美, 松岡節子, 最上福美子, 作田順子, 加藤丈士, 本田万知子, 吉居富美子, 成瀬優知, 鏡森定信, 西条旨子, 森河裕子, 中川秀昭: 小矢部保健所管内における脳卒中予防活動(第22報)在宅脳卒中登録患者の寝たきり・予後要因の検討. 第55回日本公衆衛生学会総会, 1996, 10, 大阪.
- 23) Kajita E, Iki M, S. Sasaki, F. Kitayama, Y.

- Saito, S. Imura, Y. Ishii, Y. Kusaka, H. Nishino, S. Mitamura: The effects of muscle strength and lifestyle on the change in bone density of the lumbar spine. World Congress on Osteoporosis, 1996,5, Amsterdam.
- 24) M. Iki, Y. Dohi, K. Yonemasu, E. Kajita, H. Nishino, Y. Kusaka, A. Morita and K. Sato: Vitamin D reseptor genotype and bone density in Japanese postmenopausal women. World Congress on Osteoporosis, 1996, 5, Amsterdam.
- 25) M. Iki, Y. Dohi, K. Yonemasu, E. Kajita, H. Nishino, Y. Kusaka, A. Morita, K. Sato: Effects of genetic and lifestyle factors on bone loss in Japanese women. The X IV International Scientific Meeting of the International Epidemiological Association, 1996, 8, Nagoya.
- 26) E. Kajita, I. Matsubara, T. Kuwamori, M. Murayama Y. Hattori, S. Tamura and S. Kagamimori: Effects of aging and having their own children on the number of foods taken at each meal among Japanese female aged 20-29 years. The X IV International Scientific Meeting of the International Epidemiological Association, 1996, 8, Nagoya.
- 27) S. Kagamimori, I. Matsubara, E. Kajita, S. Sokejima, T. Yamagami, I. Izumi, T. Kakiuchi and E. Kibayashi: Relationship between lifestyles and stress among ten thousands civil servants. X X VI International Congress of Psychology, 1996, 8, Montre'al.
- 28) 伊木雅之、土肥祥子、梶田悦子、日下幸則、北山富士子、森田明美、佐藤一博、米増國雄、石井靖: ビタミンD受容体遺伝子多型とライフスタイル要因の腰椎骨密度変化への影響.第66回日本衛生学会総会、1996,4,札幌.
- 29) 西野治身、田中朋子、堀井裕子、伊木雅之、梶田悦子、土肥祥子、日下幸則、鏡森定信: 中高年女性における尿中骨吸収マーカーと骨量変化との関係.第66回日本衛生学会総会、1996,4,札幌.
- 30) 織田優子、櫻井陽子、友安賀代子、竹内富美子、境井早苗、加藤満子、若林正三郎、梶田悦子、日下幸則: アレルギー疾患に関する実態調査.第24回北陸公衆衛生学会総会、1996,10,福井.
- 31) 梶田悦子、伊木雅之、西野治身、三田村純枝、山崎巖、飛田芳江、北山富士子、日下幸則、中高年女性における腰椎骨密度の変化と生活習慣. 第55回日本公衆衛生学会総会、1996,10,大阪.
- 32) 西野治身、田中朋子、堀井裕子、伊木雅之、土肥祥子、梶田悦子、日下幸則、鏡森定信: 閉経期の骨吸収、骨形成マーカーおよび腰椎骨密度の変化に関する縦断的検討.第5回日本骨粗鬆症研究会、1996,10,大阪.
- 33) 平川陽基、土肥祥子、伊木雅之、西野治身、梶田悦子、日下幸則、米増國雄: 健常日本人女性におけるエストロゲンレセプター遺伝子多型と腰椎骨密度.第5回日本骨粗鬆症研究会、1996,10,大阪.
- 34) 伊木雅之、梶田悦子、西野治身、山崎巖、山上孝司、日下幸則: 超音波骨密度測定器の測定値に及ぼす環境温度の影響.第55回日本公衆衛生学会総会、1996,10,大阪.
- 35) Izumino K., Takata M., Futamura A., Nakagawa Y., Ueno H., Yasumoto K. and Inoue H.: Renal and systemic effects of uninephrectomy on non-insulin dependent diabetes (NIDDM) rats with mild hypertension. 16th Scientific Meeting of the International Society of Hypertension June 1996, Glasgow, UK.
- 36) Futamura A., Izumino K., Nakagawa Y., Takata M., Inoue H. and Iida H.: Effect of macrophage activation on glomerular sclerosis in remnant kidney model. 29th Annual meeting of the American Society of Nephrology November 1996, New Orleans, USA.
- 37) 泉野潔、圓谷千佳、二村明広、中川優子、上野均、安本耕太郎、高田正信、井上博: 糖尿病自然発症ラット(OLETF)における腎病変-片腎摘の影響. 第39回日本腎臓学会学術総会、1996, 5, 倉敷
- 38) 中川優子、泉野潔、圓谷千佳、二村明広、上野均、安本耕太郎、高田正信、井上博: 糖尿病自然発症ラット(OLETF)におけるAngiotensin II長期持続注入の糸球体病変の影響. 第39回日本腎臓学会学術総会、1996、5, 倉敷.
- 39) 二村明広、泉野潔、中川優子、圓谷千佳、上野均、安本耕太郎、高田正信、井上博: 5/6腎摘ラットにおける遺伝子組み替え型マクロファージコロニー刺激因子(M-CSF)の糸球体障害に対する効果. 第39回日本腎臓学会学術総会、1996,5, 倉敷
- 40) 高井みずほ、泉野潔、大橋信也、上野均、安本耕太郎、高田正信、井上博: 膜性腎症によるネフローゼ症候群を合併した結節性多発性動脈炎の1例. 第26回日本腎臓学会西部学術大会、1996,9,三重.
- 41) 福田加奈子、堀亨、沢崎茂樹、佐藤啓、杉山英

- 二、小林正、泉野潔：頸動脈エコーが診断及び経過観察上有用であった大動脈症候群の1例。第168回日本内科学会北陸地方会,1996,3,富山。
- 42) 服部ユカリ, 村山正子, 梶田悦子：在宅介護支援センターの看護職によるケースマネージメント。日本看護研究学会近畿・北陸・中国・四国地方会 1996,3, 富山。
- 43) 服部ユカリ, 田村須賀子, 梶田悦子, 村山正子, 成瀬優知：脳卒中発症後のSocial Support—64歳以下と65歳以上の比較—。第55回日本公衆衛生学会総会, 1996,10, 大阪
- 44) 服部ユカリ, 梶田悦子, 村山正子, 成瀬優知, 泉野潔, 田村須賀子：在宅介護支援センターにおける看護職の活動と役割, 日本老年看護学会第1回学術集会1996,11,千葉
- 45) 田村須賀子, 村山正子：糖尿病教室受講者への自己管理支援方法.第5回日本健康教育学会、1996, 6,東京。
- 46) 田村須賀子、明官教子：保健婦の子育て支援活動の展開.第24回北陸公衆衛生学会、1996,10,福井。
- ◆ その他
- 1) 大野絢子、宮地文子、丸山美和子、錦織正子、佐々木美佐子、長浦美晴、村山正子：保健婦の母子保健指導に関わる教育のあり方に関する研究.平成7年度厚生省心身障害研究報告書,307-323、1996,3.
- 2) 村山正子、大野絢子、斉藤泰子、妹尾孝子、高崎絹子、福本恵、宮地文子、山崎京子：保健婦の基礎教育と現任教育のあり方に関する研究.平成7年度厚生省科学研究「地域における保健婦活動に関する研究報告書」、1~29,1996,3.
- 3) 成瀬優知：高齢者のSocial Supportと健康. 高齢者の活動能力評価についての研究会. 山形研究集会報告書. 19-23, 1996.
- 4) 堀井裕子, 田中朋子, 西野治身, 熊西忠郎, 山上孝司, 成瀬優知, 鏡森定信：思春期における運動と骨代謝指標との関連. 富山県衛生研究所年報 19:158-163, 1996.
- 5) 新村哲夫, 中崎美峰子, 西野治身, 熊西忠郎, 中川秀昭, 成瀬優知, 鏡森定信：成人男性における尿中過酸化脂質排泄量(TBARS排泄量)と飲酒・喫煙習慣. 富山県衛生研究所年報 19:164-168, 1996.
- 6) 西野治身、田中朋子、堀井裕子、熊西忠郎、伊木雅之、梶田悦子、土肥祥子、日下幸則、鏡森定信：健常女性における踵骨超音波計測値と腰椎骨密度ならびに骨代謝指標との関係.富山衛生研究所年報 19:138-147,1996.
- 7) 服部ユカリ：痴呆性老人の介護と課題、富山ターミナルケア懇話会公開シンポジウム、1996,10、富山。